

速報！安城の遺跡から //

令和5年度 発掘調査結果

令和5年度に安城市が行った遺跡の調査は、発掘調査5件、試掘・確認調査14件でした。今回はそのうち、塚越古墳(古井町)で実施した調査について紹介します。



塚越古墳(東上空から)

塚越古墳って？

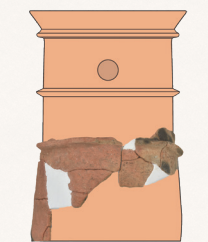
塚越古墳は古墳時代前期(4世紀後半)の古墳で、安城市東部にある願力寺^{がんりきじ}の裏手に存在します。戦後間もない1949年に、地元の人達によって発掘調査が行われました。当時では唯一古墳主体部の調査が行われ、その中からは副葬品とみられる紡錘車形石製品や鉄製品等が出土しました。



出土した
紡錘車形石製品(左)と
鉄製品(右から3点)

過去の調査結果

市が平成29年度に行った古墳の大きさや形を知るための調査によって、古墳の全長は45mほどと推定できましたが、その時も古墳が前方後円墳か？前方後方墳か？と形を特定することはできませんでした。また、古墳の周囲の溝から円筒埴輪^{えんとうはにわ}が発見されています。



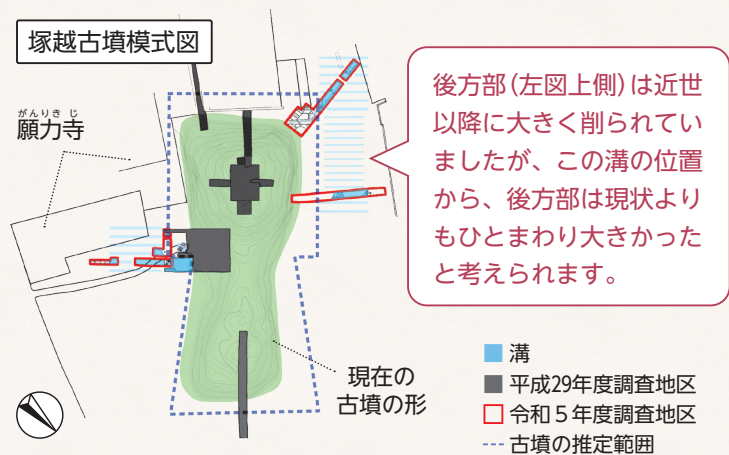
円筒埴輪
(平成29年度調査出土)



埴輪とみられる破片
(令和5年度調査出土)

前方後方墳である可能性大!?

今回、古墳の保存活用を目的とした調査を実施しました。その結果、古墳の周囲から幅6m以上の溝と埴輪の破片が見つかりました。溝は古墳の墳丘^{ふんきゅう}に沿うとみられ、形や延びる方向等から、前方後方墳である可能性が高くなりました。



文化振興課からのお願いとお知らせ

家を建てるときは一報を

開発でやむを得ず破壊される遺跡について、文化財保護法に定められた事項に基づき、事前に発掘調査をしています。住宅建設等の開発工事を行う計画があれば、文化振興課まで連絡してください。

調査成果の展示

今回紹介した調査成果は、埋蔵文化財センターで展示しています(パンフレット有)。

●展示日時 (火)～(日)午前9時～午後5時
(月)が祝日の場合は開館、年末年始休館)